

事業評価シート（様式3）

刈谷市合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 29 年 2 月

1.対象事業	刈谷市合流式下水道緊急改善事業
2.事業主体名称	愛知県刈谷市
3.計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度
4.対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、計画書のとおり対策を実施した。</p> <p>汚濁負荷量の削減・・・「排出する BOD 汚濁負荷量を分流下水道と同程度以下とする」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境川浄化センターにおける汚水貯留池（7,000m³）の設置 ・市内 15 箇所の雨水吐室の越流堰の嵩上げ <p>公衆衛生上の安全確保・・・「すべての雨水吐口で未処理下水の放流回数を少なくとも半減させる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 15 箇所の雨水吐室の越流堰の嵩上げ <p>きょう雑物の削減・・・「すべての雨水吐口できょう雑物の流出を極力防止する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 15 箇所の雨水吐室のきょう雑物除去装置の設置
5.目標の達成状況と達成の見通し	<p>(1) 改善目標</p> <p>汚濁負荷量の削減 公共用水域への BOD 放流負荷量を分流並みまで低減（対策前：210.0t/年 目標：104.8t/年） 公衆衛生上の安全確保 すべての雨水吐室における越流回数の半減（対策前：1,015 回/年 目標：507 回/年） きょう雑物の削減 すべての雨水吐室におけるきょう雑物流出を極力防止（対策前：0 箇所 目標：15 箇所）</p> <p>(2) 目標に対する達成状況</p> <p>汚濁負荷量の削減 BOD 放流負荷量：104.5t/年（＜目標値） 公衆衛生上の安全確保 越流回数：426 回/年（＜目標値） きょう雑物の削減 きょう雑物除去装置の設置箇所数：15 箇所</p>
6.対象事業の整備効果の発現状況等	<p>汚濁負荷量の削減 BOD 年間放流汚濁負荷量が分流並みとなり、放流先の水質保全に寄与する。 公衆衛生上の安全確保 未処理下水放流回数が半減し、未処理下水とともに流出している BOD 負荷、SS 負荷、大腸菌群を削減できるため、放流先の公衆衛生向上に寄与する。</p> <p>きょう雑物の削減 全ての吐口に対策を実施することにより、きょう雑物の流出を極力防止できるため、放流先の景観や健全な水環境保全の維持に寄与する。</p>
7.事業の効率化に関する取り組み状況	<p>平成 21 年度に見直しを行った合流式下水道改善計画に沿って、事業は効率的・効果的に実施された。きょう雑物除去装置については、新技術の確認・導入検討を行い、効率化を図っている。</p>
8.今後の方針	<p>事業完工により、改善目標は達成されている。</p> <p>今後は、雨水流出抑制施設（各戸貯留）の普及を推進し、公共用水域の更なる水質保全に寄与するよう検討および実施に務める。</p>